



な っ と く ん の

山口県立山口博物館 学校地域連携担当

2015年9月15日 No.143

なるほどなっとくニュース

なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。

この銅像、どなたですか？ ～ 山口市編 ① ～

日本全国には多数の銅像が建っています。その多くは、歴史上有名な人物や地域に貢献した人物です。山口県内にも多くの銅像が建っていますが、「この人だれ？」って思いませんか。ここでは、山口県内の様々な場所にある銅像のうち、芸術作品や仏像などをのぞいた人物の像を紹介していきます。なかには、石像やセメント像、FRP製のものなども含まれますが、銅像として紹介していきます。



わたしは、山口市の亀山公園にいます。

どなたですか？



この銅像の人物は、長州藩第13代当主、「毛利敬親」公です。

江戸時代の終わり、幕府と対決することを決めた敬親公は、守りを固めることを考えて、萩にあった長州藩のお城を今の山口市に移しました。

敬親公は、家臣の意見を大切にした殿様でした。家臣に贈った書「格非心」には、間違いは素直に批判してくれるようにという意味が込められていたと考えられています。



世界の科学史上、貴重な資料である蒸気機関車模型「興丸号」を萩城内で走らせたことから、科学技術にも大きな関心を寄せていたことがうかがえます。

次回も山口市にある銅像を紹介します。